

とやま 輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上～川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

富山県西部森林組合 (南砺市) 蘭 強さん

今回ご紹介するのは、富山県西部森林組合 砺波支所の測量班に所属する蘭強(らんつよし)さんです。



蘭 強さん

蘭さんは、平成23年7月に、当時、森林組合が緊急雇用対策で募集していた臨時の大型トラック運転手として応募したところ、過去の経歴を見込まれて測量担当として採用されました。その後、平成24年に森林組合の森林従業員となり、現在に至ります。

「仕事には厳しい」と自認する蘭さん。現場では、よく通る大きな声で相方に指示を出し、いつもテキパキとスピーディーに測量を行っています。もともとは農業土木分野の測量設

計会社に長年お勤めされ、過去には、県外の被災地に派遣されたこともあるなど、優れた測量技術のみならず、豊富な知識と経験をお持ちです。

これまでの経験を活かし、普段の作業を通じて同僚への指導も行っていきます。

現在担当する業務は、基本的には現場での測量作業が中心です。その日の成果は測量データをパソコンに取り込み、測量点がきれいに結ばれた図面が画面上に映し出されると、「一日の仕事が完了」というところ



測量結果を職員へ報告



現地検査でポケットコンパスを据え付け

が、スッキリと分かりやすく、とても気に入っているそうです。
また、五箇山方面の森林は急峻な地形が多いものの、測量現場の移動は苦にならず、スギ花粉もへっちゃら。意外にも「実は高所恐怖症」とのことですが、「定年を過ぎても、まだ10年は働ける!」とお話されていました。頼もしいですね。

森林整備というと、施業の実施方法や安全管理などに注目が集まりますが、蘭さんが担当する「測量」も森林整備事業の計画・実施・管理に欠かせない大切な工程です。優れた技術と豊富な知識・経験に基づく確かな「測量」を通じて森林整備を支えてくださる蘭さんの益々のご活躍をご祈念申し上げます。

文責 砺波農林振興センター 林政・普及班



テキパキと正確に測量